

1. 建設関係

令和元年10月26日、多治見砂防国道事務所が整備を進めた桜洞砂防堰堤の完成式が行われた。桜洞は下流に人家43戸、新町・上仲町集会所や国道19号、JR中央線等の重要インフラがあるが、当該溪流に砂防施設がなく未整備であったが、平成31年3月に完成し、約1.1万m³を捕捉する砂防堰堤が完成した。

(町道関係)

- ・道路維持補修工事では、側溝修繕やポットホール等の町道補修事業を行った。
- ・道路新設改良工事では、向栗畑線、本谷線の改良工事を実施した。また、蘭線の概略設計調査を実施した。
- ・舗装工事では、新山沢線・柿其溪谷線・塚野線の舗装補修工事を実施した。
- ・国土強靱化工事では、沼田線の防災工事を実施した。
- ・橋梁維持修繕工事では、橋梁点検、高橋・南沢橋の補修工事、桃介橋補修工事及び、地蔵沢橋他3橋の設計調査を実施した。
- ・除雪対策事業は、暖冬の影響で除雪件数・日数ともかなり少なかった。融雪剤散布車による路面凍結の予防に力を入れた。

(町道関係平成30年度繰越事業)

- ・天白川向線防災工事、上の原線改良工事を実施した。橋梁維持事業では、桃介橋の詳細設計を実施した。

(町河川関係)

- ・町河川整備では、与の洞の支障木伐採、下の沢の流路整備を実施した。

(災害復旧事業)

- ・5月13日豪雨災害(2箇所)、6月30日豪雨災害(3箇所)、8月16日台風10号災害(4箇所)、8月23日豪雨災害(3箇所)、10月12日台風19号災害(3箇所)等5回被災し、総計20箇所 総額4,056千円となった。

(国 関係)

- ・国道19号では、神戸視距改良工事の本工事が実施された。また、南木曾大橋の橋梁修繕工事が実施された。
- ・直轄砂防事業では、額付第1砂防堰堤改築、和合蛇抜沢工事用道路築造工が実施された。また、桂川、地蔵沢で現地立会い、戦沢、与川、小梨子沢で調査が行われた。

(県 関係)

- ・木曾川右岸道路整備事業は、県代行事業により引き続き町道川向柳野線改築工事が実施されたほか、一般県道上松南木曾線(戸場地区~大桑村)の道路詳細設計、トンネル詳細設計等が実施された。
- ・国道256号では、道路改良(漆畑拡幅)事業のほか、災害防除交通安全事業等(上在郷橋下、梨の木沢橋下)、舗装補修事業(吾妻橋上、ホテル木曾路上)が実施された。

- ・(主)中津川田立線は、道路築造工事、大滝川橋梁の下部工事、用地・補償等が実施された。
- ・(主)中津川南木曾線は、滝上工区で道路築造工事が実施された。
- ・県砂防事業は、岩戸沢砂防堰堤工事が実施された。

2. 住宅関係

- ・町営住宅125戸の火災報知器の取替工事を実施した。
- ・ユアアイ住宅上仲団地1棟4戸の改修工事を実施した。
- ・町営住宅住吉団地1棟2戸の除却工事を実施した。
- ・住宅リフォーム補助金を6戸に交付した。

3. 環境衛生関係

- ・ごみ処理関係では、可燃ごみが前年度より29.9tの増加、生ごみが前年度より4.1tの減少、不燃ごみが3.0tの増加となった。また、資源ごみの回収は4.8tの減少となった。
- ・環境美化活動では、衛生自治会と連携し町内一斉清掃を実施した。また、ポイ捨て防止監視パトロールを実施した。
- ・地球温暖化対策の一環として、国が進める「cool choice（賢い選択）」に賛同し、環境学習や省エネ研修会などを開催した。
- ・三軒家小規模水道と上在郷地区の水道水源を確保するため大山蘭簡易水道の管末を延長して配水する方法を選択し実施設計に基づいて3月に工事の入札を行った。(H30年度繰越事業)
- ・小規模水道施設の統合等を検討するため小規模水道全体計画を策定した。(H30年度繰越事業)

4. 特別会計

○簡易水道事業特別会計

- ・公営企業会計への移行を進めるため、基本方針の策定と固定資産台帳作成業務を委託した。
- ・リニア中央新幹線工事に伴う水道水源対策として予備的措置についてJRとの協議のうえ、水道水源の取水施設等基本設計、基本設計の具体的な検討に入った。

○下水道事業特別会計

- ・公営企業会計への移行を進めるため、基本方針の策定と固定資産台帳作成業務を委託した。
- ・計画的な設備更新を行うため、ストックマネジメント計画策定業務を委託した。
- ・マンホールポンプ場非常通報装置を更新した。

○農業集落排水事業特別会計

- ・公営企業会計への移行を進めるため、基本方針の策定と固定資産台帳作成業務を委託した。
- ・蘭浄化センター回分槽用フロア、中折マンホールポンプ場圧力式水位計を更新した。

○浄化槽市町村整備推進事業特別会計

- ・ 公営企業会計への移行を進めるため、基本方針の策定と固定資産台帳作成業務を委託した。
- ・ 浄化槽市町村整備推進事業により浄化槽 1 8 基（うち 2 基は入替）を整備した。（町整備分 524 基）
- ・ 今年度、寄付による町管理型への移管は 8 基。（町への移管分 252 基）

【事業の評価】

- ・ 国直轄事業で整備した桜洞砂防堰堤の完成式を実施することができた。近年の局地的豪雨の状況を踏まえて、既に計画されている箇所の事業推進と新たな事業採択に向けた要望活動が重要である。
- ・ 国道 19 号は神戸視距改良事業が進められているが、吾妻地区から岐阜県坂下地区までの雨量規制区間の解消に向けた道路整備の検討をお願いしていく必要がある。
- ・ 国土強靱化事業として天白川向線防災工事を実施した。3 箇年事業として町内 3 箇所が事業採択されたが 3 箇年以降も県・国等へ事業継続の働きかけが必要である。
- ・ 木曾川右岸道路は県代行事業として川向柳野線改良事業が実施されている。令和 2 年度供用開始に向けて交通安全対策を含めた準備とともに川向地区から先のルート確定・事業継続について引き続き県への働きかけが必要である。
- ・ リニア中央新幹線事業に伴い町道棚橋線改良事業、水道水源の予備的措置の実施に向けて関係課とともに JR と協議を行った。町道改良に関しては工事に伴う迂回路の設定や地元住民との調整、水道水源については影響が懸念される水源の水量確保を念頭に JR をはじめ関係機関との綿密な協議が必要である。
- ・ 町営住宅住吉団地の除却工事を実施した跡地に引き続いて住宅建設を望む声が地元からあり設計業務を前倒しで実施した。
- ・ 小規模水道全体計画策定について施設台帳の整備を実施した。将来の施設維持管理に向けて地域の実情を考慮しながら各水道組合との十分な協議・検討が必要である。
- ・ 特別会計 4 会計（簡易水道・特環下水道・農業集落排水事業・浄化槽市町村整備事業）の公営企業会計への移行へ向けて準備を行った。令和 3 年 4 月の移行開始に向けて引き続き関係部署と連携しながら移行事務を進めていく予定である。

8 建設環境課所管

1. 建設関係

(1) 道路関係

① 町道

町道については、実施計画に基づき道路改良等の事業を実施したほか、社会資本整備総合交付金事業を実施した。

重要インフラに対する国土強靱化事業を天白川向線、沼田線で実施した。

道路維持補修については、各地域からの要望を中心に緊急性の高いものから順次実施し、可能な限り対応している状況である。

道路維持補修事業	25,526千円	(台帳整備含む)
道路舗装事業	29,811千円	
国土強靱化事業	18,515千円	
道路改良事業	80,900千円	
除雪対策事業	10,918千円	
県営工事付帯事業	3,624千円	
橋梁維持補修事業	83,406千円	
元年度事業費計	252,700千円	(明細別紙参照)
元年災害復旧費	4,056千円	(明細別紙参照)
30年度繰越事業	106,855千円	(明細別紙参照)

② 国道

【一般国道19号】

神戸地区視距改修事業本工事が実施された。

南木曾大橋橋梁修繕工事が実施された。

【一般国道256号】

道路改良(漆畑拡幅)、災害防除交通安全事業(上在郷橋下、梨の木沢下)、防災・安全交付金舗装修繕事業(吾妻橋上、ホテル木曾路上)等が実施された。

③ 県道

【主要地方道 中津川南木曾線(馬籠峠～下り谷拡幅)】

道路築造工が実施された。

【主要地方道 中津川田立線】

道路築造工、大滝川橋梁(橋梁下部工事、用地補償)が実施された。

【主要地方道 飯田南木曾線(茶屋下)】

道路防災事業が実施された。

【一般県道 上松南木曾線(読書ダム～戸場)】

道路詳細設計、橋梁・交差点詳細設計、トンネル詳細設計、用地買収、物件補償が実施された。

【県代行 木曾川右岸道路(町道川向椰野線)】

道路改築事業(川向)が実施された。

【一般県道南木曾停車場線(大沢田橋)】

歩道橋詳細設計が実施された。

(2) 砂防・河川・災害関係

① 町単河川改修事業

【準用河川改修】

下の沢・与の洞沢の支障木伐採を実施した。

元年度事業費	958千円	(明細別紙参照)
--------	-------	----------

② 直轄砂防事業

【砂防事業】……………本体工事

事業概要	額付第1砂防堰堤改築・和合蛇抜沢沈砂地取付道路工
------	--------------------------

【砂防調査】……………地質調査・測量・詳細設計ほか

事業概要	桂川第1砂防堰堤・地藏沢第1砂防堰堤・戦沢・与川・小梨子沢
------	-------------------------------

③ 県砂防事業

【砂防事業】……………本体工事 岩戸沢（沼田）堰堤

(3) 負担金関係等

期成同盟会、団体に対して負担金を支出し、事業促進のため要望活動を行った。

(明細別紙参照)

【国道256号改良促進期成同盟会】

飯田市・阿智村・南木曾町の3市町村で構成し、未改良区間の改良促進を主に積極的に要望活動を行った。

【木曾南部直轄砂防推進協議会】

上松町・南木曾町・大桑村の3町村で構成し、直轄砂防事業の促進について要望活動・現地調査・砂防研修会等を行った。

【中津川南木曾県際道路改良促進協議会】

中津川市・南木曾町2市町で構成し、岐阜県と結ぶ主要地方道2路線の改良促進を中心に現地調査等を行った。

【主要地方道飯田南木曾線改良促進期成同盟会】

飯田市、南木曾町及び各町内会・各種団体等、民間主導型で同盟会を結成し、改良促進を中心に現地調査等を行った。

【木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会】

上松町・南木曾町・大桑村の3町村で構成し、右岸道路の県代行事業着手区間の早期完成と、未着手区間の早期事業化を中心に要望活動・住民啓発活動等を行った。

【木曾地域国道19号整備促進期成同盟会】

郡内6町村と塩尻市で今年度から同盟会を結成し、改良促進を中心に積極的に要望活動を実施した。南木曾町独自でも、飯田国道事務所、中部地方整備局に雨量規制区間の解除に向けた整備をお願いした。

(4) 町道台帳整備

	2年3月末	31年3月末
道路実延長 (m)	163,277	163,283
改良済延長 (m)	97,502	97,508
舗装済延長 (m)	117,523	117,528
自動車通行不能道延長 (m)	39,904	39,905
橋 梁 数 (箇所)	207	207
うち永久橋 (箇所)	161	161

(5) 諸申請手続き

① 河川法申請関係	35件
② 町道自営工事申請	2件
③ 町道使用申請	150件
④ 砂防法申請関係	2件
⑤ 急傾斜地法申請関係	0件
⑥ 国道・県道通行制限通知	59件

令和元年度建設関係主要事業

道路維持補修事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
町道補修	町内一円	町道補修52箇所	9,568					9,568	
町道補修(地元施工含む)	町内一円	原材料(側溝・側溝蓋・舗装補修材等)	1,033					1,033	
調査委託	塚野線 小学校上線 蘭広瀬線	用地測量 FWD調査	2,090					2,090	
土木小規模補修	町内一円 57箇所	ポットホール	4,672					4,672	
与川線横断溝設置・待避所設置 工事	与川	工事一式	2,398					2,398	
防護柵設置工事	町内一円 町内4箇所	工事一式 監理	2,099					2,099	
その他維持工事に係る 用地購入	本谷線		11					11	
道路愛護作業補助金	町内一円 53地区	道路愛護作業	1,060					1,060	
その他		重機使用料、消耗品費	150					150	
合計			23,081					23,081	

道路橋梁一般事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
道路台帳整備事業	町内一円	道路台帳補正、 附属物点検業務、 看板購入	2,445					2,445	
合計			2,445					2,445	

道路舗装事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
塚野線舗装補修	塚野	工事L=269.3m、監理	15,644	14,000				1,644	
新山沢線舗装 (過疎)	岩倉	工事L=60.0m、監理	2,915		2,900			15	
蘭広瀬線舗装 (過疎)	広瀬	工事L=445.5m、監理	10,572		10,500			72	
柿其溪谷線改良 (過疎)	本谷	用地測量、用地取得	680		600			80	R2～繰越 6,127千円
合計			29,811	14,000	14,000			1,811	

国土強靱化事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
沼田線防災工事 (防災・減災・国土強靱化)	沼田	工事A=783.0㎡、設計 監理、資材価格調査	18,515	10,260	8,000			255	社会資本整備 交付金 R2～繰越 34,484千円
合計			18,515	10,260	8,000			255	

道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
向栗畑線道路改良(辺地)	向栗畑	工事L=158.5m 監理 用地取得・立木補償	26,199						
向栗畑線道路改良(その2) (辺地)	向栗畑	工事L=63.0m 設計監理、用地取得	12,025		38,200			24	R2～繰越 12,760千円
本谷線道路改良(過疎)	本谷	工事L=100.0m 監理 用地測量・水道管補償	42,179		41,700			479	
蘭線道路改良	大島	概略設計	497					497	
合計			80,900		79,900			1,000	

除雪対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
融雪剤・砂配布業務	町内一円		400					400	
町道除雪作業賃金		与川3区 下り谷 橋場 本谷	0					0	
凍結防止剤等購入代	町内一円 200箇所	塩化カルシウム 25kg 600袋	858	198				660	
融雪剤散布業務	町内		455	304				151	
町道雪害支障木伐採など	町内一円 5箇所	支障木伐採	1,438					1,438	
町道除雪業務重機使用料 (年間管理料)	町内一円 159路線	町内業者10社他委託 重機使用料	7,669	1,108				6,561	社会資本整備 交付金
町道滑り止め用砂購入代	町内一円 63箇所	砂配布	98					98	
合計			10,918	1,610				9,308	

※路線数は、委託契約業者ごとの契約路線数の合計数。(1路線で雪害路線、通常路線ある場合は2路線として計上、同一路線を複数事業者契約の場合も2路線で計上。)

県営工事付帯事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
リニア関連事業 (町道棚橋線拡幅)	蘭	用地交渉、用地取得、 立木補償	519					519	
県関連事業 (砂防事業)	沼田	用地取得	320					320	
その他 国県関連事業	大原苗圃他	残土処理場等修繕	2,785					2,785	
合計			3,624					3,624	

橋梁維持経費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
橋梁点検事業	町内一円	点検36橋	15,937	9,405		5,900		632	(国庫支出金) 社会資本整備交 付金
	高橋・南沢橋	工事一式 監理 資材価格調査 河川占用協議資料作成	51,251			30,090		1,710	(過疎債) (その他) 併用林道整備負 担金
			4,865	12,516	11,800				
橋梁補修事業	地蔵沢橋・ 119号橋	設計調査一式	0						R2へ繰越 6,500千円
	本谷第1号橋・ 歴史の道27号橋	設計調査一式							(過疎債)
	桃介橋	工事一式 補修設計一式	10,264		10,200		64		R2へ繰越 17,336千円
合計	大妻籠橋・ こうしんづか橋	工事一式	83,406	21,921		27,900	30,090	1,089	
									3,495

河川整備事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
与の洞沢・下の沢 河川環境整備	左記のとおり	河畔樹伐採、河川内土砂 撤去	958						958	
合計			958						958	

道路災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
道路災害復旧事業（5月13日 豪雨）										
道路災害復旧修繕工事	北部2箇所	陥没補修 排水処理	931						931	
道路災害復旧事業（6月30日 豪雨）										
道路災害復旧修繕工事	三留野1箇所 妻籠1箇所 北部1箇所	倒木処理 落石除去	165						165	
道路災害復旧事業（8月16日 台風10号）										
道路災害復旧修繕工事	北部2箇所 妻籠2箇所	倒木処理、陥没補修 路肩補修	689						689	
道路災害復旧事業（8月23日 豪雨）										
道路災害復旧修繕工事	与川2箇所 田立1箇所	法面崩壊復旧、 堆積土除去、 排水流末修繕	907						907	
道路災害復旧事業（10月12日 台風19号）										
道路災害復旧修繕工事	広瀬2箇所 田立1箇所	倒木処理、 路肩崩壊復旧	197						197	

道路災害復旧事業 (その他)							
事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 (公共事業等債)	
					その他	一般財源	
道路災害復旧修繕工事	三留野4箇所 広瀬1箇所	路肩補修、倒木処理 陥没補修、排水管復旧	1,167			1,167	
合計			4,056			4,056	

道路維持補修事業 (平成30年度からの繰越分)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源			備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債 (公共事業等債)		内 訳
					その他	一般財源		
天白川向線防災工事 (公共事業等債)	天白	工事 A=1,038 m ² 工事・監理 資材価格調査	66,537	34,200		25,800 (-一般純債) 6,000	537	社会資本整備 交付金
合計			66,537	34,200		31,800	537	

道路新設改良事業 (平成30年度からの繰越分)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源			備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債		内 訳
					その他	一般財源		
上の原線改良工事 (刃地)	上の原	工事 L=373.5m 工事・監理	35,025			34,200	825	
合計			35,025			34,200	825	

橋梁維持経費（平成30年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
桃介橋補修工事 (過疎)	桃介橋	詳細設計一式	4,148		2,700			1,448	
合計			4,148		2,700			1,448	

公共土木施設道路災害復旧事業（町単）（平成30年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
天白川向線支障木伐採工事	天白	工事一式	1,145					1,145	
合計			1,145					1,145	

同盟会及び協会事業負担金等（土木総務費）

単位：円

負担金名称	金額	事業主体
256号改良促進期成同盟会負担金	200,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾南部直轄砂防推進協議会負担金	194,200	推進協議会（事務局 大桑村）
河川協会負担金	2,000	河川協会
全国治水砂防協会負担金	125,000	全国治水砂防協会・長野県治水砂防協会
県道路整備期成同盟会負担金	165,500	
中津川南木曾県際道路改良促進協議会負担金	0	同盟会（事務局 南木曾町）
飯田南木曾線改良促進期成同盟会負担金	20,000	同盟会（事務局 飯田市）
中津川田立線改良促進期成同盟会補助金	40,000	地元同盟会
長野県地区用地対策連絡協議会負担金	3,000	
木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会	25,000	同盟会（事務局 大桑村）
合計	774,700	

2. 住宅関係

(1) 町営住宅管理状況

* 住宅及び入居者の状況

R2.3.31 現在

	管理戸数	年度当初入居戸数	年度中入居戸数	年度中退去戸数	年度末入居戸数	年度末空家戸数	除却予定空家戸数
公営住宅	70	65	7	10	62	4	4
特定公共賃貸住宅	16	16	0	0	16	0	0
地域優良賃貸住宅	6	5	2	1	6	0	0
町営単独住宅	20	17	0	0	17	0	3
ユーアイ住宅	42	32	14	5	41	1	0
合計	154	135	23	16	142	5	7

◎教育委員会管理

教職員住宅	30	24	6	2	28	2	0
-------	----	----	---	---	----	---	---

* 家賃徴収の状況

		家賃調定額	家賃徴収済額	不納欠損額	未徴収額	家賃徴収率
使用料	(公営住宅・特賃住宅・地優賃住宅)	20,625,300円	20,432,700円	0円	192,600円	99.07%
	(全住宅駐車場)	406,500円	403,000円	0円	3,500円	99.14%
財産収入	(教員住宅)	5,263,800円	5,263,800円	0円	0円	100.00%
	(ユーアイ住宅)	19,158,500円	18,506,900円	0円	651,600円	96.60%
	(町営単独住宅)	3,955,200円	3,808,400円	0円	146,800円	96.29%
過年度収入		3,142,800円	46,200円	71,700円	3,024,900円	1.47%
計		52,552,100円	48,461,000円	71,700円	4,019,400円	92.22%

※家賃徴収

滞納対策については、家賃だけでなく町税等の滞納も絡んでいるケースが多く他係と連携して取り組んでいる。滞納者とは積極的に折衝し実情の把握に努め、計画的に支払えるように対策を進めている。

※住宅維持補修

令和元年度末において、環境住宅係で管理している住宅は154戸となっている。その内約80%が築20年を経過しており、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっている。これらに対応するため軽微な補修も含め31件4,400千円の維持補修を実施した。

教育委員会で管理している教職員住宅については22件798千円の維持補修を実施した。

(2) 住宅資金貸付業務

平成23年度から南木曾町への定住の推進を図ることを目的として、南木曾町定住促進住宅資金の貸付を始め、4件分にあたる2,000千円を金融機関に預託した。本年度は貸付の実績がなかった。

(3) 住宅建設の状況

・ユーアイ住宅

読書住吉地区、ユーアイ住宅住吉団地建設工事設計監理業務委託(R2へ繰り越し)

(4) 住宅改善の状況

・町営住宅改善事業

ユーアイ住宅上仲団地改修事業

ユーアイ住宅上仲団地 1 棟 4 戸

(別紙詳細)

・火災報知器取替工事

町内全戸

(別紙詳細)

(5) 住宅除却の状況

・町営住宅除却工事

町営住宅住吉団地 1 棟 2 戸

(別紙詳細)

(6) 諸申請手続き

・建築工事関係

建築工事届 (床面積 10 m²以上)

12 件

建築確認申請書 (延べ床面積が 500 m²など)

0 件

建築物除却届 (床面積 10 m²以上)

6 件

(7) 木造住宅耐震改修補助事業

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築工事を着工した、木造在来工法の一戸建て住宅が対象

・耐震診断 (国・県・町で診断料を負担)

2 件

・耐震改修・補強工事 (工事費の 1/2 以内で上限 100 万円を補助)

0 件

(8) 住宅リフォーム補助事業

住宅関連産業を中心とした町内経済の活性化を図り町民が快適な生活を営むことができるよう、持ち家住宅のリフォーム工事に対して補助を行った。

※30 万円以上の工事に対して、補助対象工事費の 10%、限度額 20 万円。

補助金の 30%相当額を南木曾町商品券で交付

※H29 より、3 世代同居世帯、18 歳未満の子供のいる世帯、U・I ターン者のいる世帯、新規就業者・新規に障害者施設等に利用登録した者のいる世帯 (いずれも H29. 4. 1 以降に転入・登録した者) に対して、一律 5 万円の南木曾町商品券を加算して交付した。

・令和元年度分

申請件数

6 件

補助対象工事費

25, 464 千円

補助金額

1, 075 千円

内商品券額

359 千円

別紙（事業実績）

（令和元年度実施事業）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
ユークエアイ住宅建設事業	読書住吉団地	未定	設計監理業務	0						R2へ繰越 4,257千円

（単位：千円）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町営住宅改善事業 （ユークエアイ住宅）	読書 U I 住宅 上伸団地	1棟4戸	屋根改修工事 設計監理業務	6,028				6,028	0	
〃 （火災報知器取替）	全戸	町内125戸	町内町営住宅 火災報知器取替え工事	1,342				1,342	0	
町営住宅除却工事	読書 住吉団地	1棟2戸	除却工事 設計監理業務	5,922				22	5,900	

3. 環境関係

(1) ごみ処理関係

①可燃ごみ

令和元年度の可燃ごみ（町収集分）排出量は488.0tで、前年度より29.9tの増加となった。

木曾クリーンセンターにおける南木曾町のごみ排出量（家庭系・事業系ごみ総量）は613.9tで、昨年度より47.1tの増加となった。木曾クリーンセンターでは可燃ごみ排出量（家庭系・事業系ごみの総量）の目標値を定め、令和元年度の実績で、木曾郡全体で706t、南木曾町では143tの減量が必要となり、木曾全体で連携してごみの減量・再資源化（3R・2R）への取り組みが必須となっている。引き続きごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

【可燃ごみ排出量の推移】

（単位 ごみ量：t）

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
町内収集分	469.6	457.0	474.6	458.1	488.0
ごみ排出量（家庭系+事業系）※	543.3	531.1	555.1	566.8	613.9
ごみ排出量対前年度増減	-86.0	-12.2	24.0	11.7	47.1
平成31年度排出目標値	471（家庭系+事業系）				
平成31年度排出目標値達成率	85%	87%	85%	83%	77%

※木曾クリーンセンターにおける家庭系・事業系ごみの総量（町収集分+持ち込み分）

②生ごみ

令和元年度の生ごみ排出量は104.1tで、前年度より4.1tの減少となった。

木曾クリーンセンターと連携して、分別意識の向上に努めていきたい。

【生ごみ排出量の推移】

（単位：t）

種 類	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
生ごみ	126.4	117.7	115.3	108.2	104.1

③不燃ごみ

令和元年度の不燃ごみ排出量は43.1tで、前年度より3.0tの増加となった。

集団回収や再資源化分別収集の排出量も増加しており全体的に排出量が増加したものと思われる。

【不燃ごみ（金物類・ガラス類）収集量の推移】

（単位：t）

種 類	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
金物類	17.5	18.3	18.4	19.3	20.2
ガラス類	21.6	18.4	20.6	20.8	22.9
合 計	39.1	36.7	39.0	40.1	43.1

④資源ごみ

資源びん・ペットボトル・発泡スチロール、蛍光管、プラスチック製容器包装、ダンボール、雑誌・雑がみ、古着類を行政回収で、新聞、アルミ缶、牛乳パック、ビールびん等を保育園、小・中学校PTA等の集団回収で実施している。

資源集団回収の実績に応じて4団体に「南木曾町資源集団回収事業奨励金」を交付した。

○行政回収

【資源ごみ排出量の推移】

(単位：t)

種 類	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
ダンボール	83.4	78.9	80.5	84.8	83.6
雑誌・雑がみ	24.8	29.2	29.0	30.7	28.1
資源びん	33.5	31.1	30.5	27.7	27.0
ペットボトル	11.2	11.5	11.2	11.5	11.5
発泡スチロール	3.0	2.8	2.7	2.8	2.7
プラスチック製容器包装	32.0	29.6	31.0	28.3	30.5
古着・古布	9.9	7.6	7.0	7.2	7.5
合 計	197.8	190.7	191.9	193.0	188.2

○資源集団回収

実施団体：南木曾小PTA・南木曾中PTA・田立子どもと歩む会・ひだまり工房

【集団回収量と奨励金交付額】

(単位 回収量：kg、ビン類：本、交付額：円)

種 類	平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	
紙類	新聞	81,410	244,230	73,900	221,700	72,160	216,480
	雑誌類	63,650	254,600	60,120	240,480	65,720	262,880
	ダンボール	19,160	57,480	16,860	50,580	16,760	50,280
牛乳パック	1,540	4,620	1,290	3,870	1,250	3,750	
アルミ缶	4,866	14,598	4,867	14,601	4,496	13,488	
ビン類(本)	2,364	471	1,238	246	377	76	
合 計		575,999		531,477		546,954	

⑤南木曾町資源ごみストックヤードについて

資源ごみ(資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、蛍光管、ダンボール、雑誌・雑がみ等)の受け入れを、毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

平成26年度から布団の受入れ(有料(130円/10kg H27.10.1料金改定))を開始し、受入件数が年々増加している。

・令和元年度布団受入実績 141件 6,925kg(前年度比△14件 675kg)

(2) 環境美化関係

南木曾町美しいまちづくり条例の規定に基づく環境美化の日に、南木曾町衛生自治会が中心となり町内一斉清掃を実施した。

① 南木曾町衛生自治会

【令和元年度活動状況】

活 動	回数等	場 所	内 容
総会	1回	南木曾会館	4月16日
役員会	3回	役場	5月15日、10月31日、3月10日
町内一斉清掃	2回	町内	4月22日(可燃ごみ190kg 不燃ごみ150kg) 9月29日(可燃ごみ110kg 不燃ごみ95kg)
委員研修	1回	木曾町	7月4日「木曾クリーンセンター」(24名出席)
町の事業への協力	随時	町内	環境衛生事業への協力、容器包装廃棄物(資源びん・ペットボトル・発泡スチロール等)の分別収集の推進協力等

②ポイ捨て防止監視パトロール事業

「ポイ捨て防止監視パトロール事業」として、前期5名、後期5名を雇用し、国道19号・256号のパーキングを中心とした不法投棄防止啓発活動とごみ拾いを実施した。

依然として不法投棄ごみは多く、最近では汚物の投棄も目立っている。関係機関等への協力を求めながら不法投棄防止の啓発を図る必要がある。

【ポイ捨て監視パトロールごみ回収状況】 (単位:個)

回収品目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
缶類	3,620	4,010	4,490
びん類	340	322	375
ペットボトル	3,634	4,888	5,409
可燃ごみ	184	185	176

※可燃ごみは町指定の可燃ごみ指定袋(50L)での回収数量

【ポイ捨て監視パトロール出動日数・延人数・延時間】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
出動日数	169日	204日	233日
延人数	338人	418人	461人
延時間	1,014H	1,254H	1,351H

③不法投棄防止関係

町が加入する木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会による、「道の駅大桑」でのポイ捨て防止啓発活動に参加した。

また、木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会との合同で、廃棄物不法投棄防止パトロールを実施した。

(3) し尿・火葬関係

①し尿関係

【し尿排出量・処理量等】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
汲取り量	744KL	725KL	695KL
汲取り手数料	8,211千円	8,343千円	8,158千円
浄化槽汚泥量	2,419KL	3,029KL	3,315KL
浄化槽清掃手数料	26,308千円	32,407千円	36,419千円

②火葬関係(緑聖苑)

【火葬場使用件数等】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
火葬場使用件数	32件	51件	32件
火葬場使用料	457千円	765千円	502千円
霊柩車使用件数	30件	51件	32件
霊柩車使用料	770千円	1,370千円	903千円

(4) 墓地の許可関係 (届け出数)

①墓地	経営許可：0件	廃止許可：10件	改葬許可：8件
②納骨堂	経営許可：0件	廃止許可：0件	

(5) 霊園分譲関係 (神戸霊園)

未分譲区画	2区画 (元年度分譲実績0件)
返還	0区画
使用権譲渡	1区画
年度末未分譲区画	2区画

(6) 飼犬登録関係

【飼犬登録数と狂犬病予防注射実施状況】

年度当初 畜犬登録数	333頭	年度内注射済頭数 (前住地接種含む) ※1	292頭
死亡等抹消頭数	40頭	未接種頭数※2	14頭
新規登録数	12頭	新規登録手数料 (@3,000×12頭)	36,000円
転入登録数	1頭	注射済証交付手数料 (@550×292頭)	160,600円
年度末 畜犬登録数	306頭	鑑札再交付手数料 (@1,600×0頭)	0円
		計	190,600円

※1 注射済頭数内訳 集合春：218頭、集合秋：29頭、訪問：8頭、来院：37頭
転入：0頭 (年度内前住所地接種済) 計292頭

※2 未接種頭数内訳 新規：1頭、老病等：7頭、不詳：6頭 計14頭

(7) 再生可能エネルギー関係

「南木曾町環境基本条例」及び「南木曾町の自然環境等と再生可能エネルギー設備設置事業との調和に関する条例」の制定により、一定規模 (事業区域面積500㎡) 以上の再生可能エネルギー施設の設置を計画する事業者は、地元への説明会実施後、町への協議が必要。

件数	法人	1件 (田立地区1件)
	個人	1件 (田立地区1件)

(8) 地球温暖化対策関係事業

国が進める地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (賢い選択)」に賛同し、省エネや行動など温暖化対策に資する選択を一人ひとりができるところから取り組んでもらうことを目的に、パンフレットの配布による普及啓発を実施した。

(9) リニア関係

◎リニア中央新幹線事業による環境への影響を明らかにするための周辺環境の現況調査の実施

① 長野県大気環境測定車「あおぞらIV号」による大気観測の実施

測定期間	実施地区	測定場所
9月26日～10月29日 (32日間)	広瀬地区	口広瀬夏虫入口付近

② 水質、水量等の独自調査の実施

町独自調査として水文調査を実施した

事業名	調査期間	実施個所	事業費
南木曾町水文調査業務	6月21日～3月23日	河川 5カ所 井戸 1カ所	602,800円

4. 上下水道関係事業

(1) 簡易給水施設関係

①簡易給水施設整備助成（事業費の90%） (単位：円)

	水道組合名	補助内容	補助金額
1	向田水道	配水池開閉バルブ修繕・取水施設清掃	415,000
2	夏焼水道	取水施設清掃	72,000
3	南野水道	取水施設落石防止柵設置	397,000
4	柿平水道	漏水調査	34,000
5	金知屋水道	水源・管理道の倒木伐採	174,000
6	十二兼水道	水管橋漏水修繕	211,000
7	胡桃田水道	配水管の復旧（災害復旧のため100%補助）	1,540,000
合 計			2,843,000

②簡易給水施設水質検査

町内19ヶ所の地区水道施設の水質検査を年2回実施し、結果により指導を行った。

※1回分（142,120円）については町が負担を行っている。

検査機関（財）中部公衆医学研究所

*小規模水道 人口・戸数一覧表

(令和2年3月31日現在)

(小規模水道：簡易給水施設、飲料水供給施設の総称)

No.	水道名	種別	地区	住民リスト		水源	
				戸数	人口	名称等	種別
1	向田水道	簡易給水施設	与川一区	4	9	ささら沢	表流水
2	柿平水道	飲料水供給施設	与川一区	15	46	干沢（ひざわ）	表流水
3	南野水道	簡易給水施設	与川三区	5	20		表流水
4	小川野平水道	簡易給水施設	与川三区	8	18	カツラ洞	表流水
5	胡桃田水道	飲料水供給施設	上の原・駒区	23	55	沼洞	表流水
6	坂本平水道	簡易給水施設	与川五区	6	20	久保洞	湧水
7	学校平水道	簡易給水施設	与川五区	4	9	大沢の支流	湧水
8	川合平水道	簡易給水施設	与川四区	10	24	ナシノキ沢	表流水
9	十二兼水道（上）	飲料水供給施設	十二兼	12	32		湧水
10	十二兼水道（下）	飲料水供給施設	十二兼	13	34	熊ノ沢	表流水
11	前の畑水道	簡易給水施設	岩倉	6	25	新山沢	湧水
12	金知屋水道	簡易給水施設	金知屋	5	15	日陰洞	表流水
13	上の原下の平水道	簡易給水施設	上の原	12	22	倉洞	湧水
14	上の原下6戸水道	簡易給水施設	上の原	6	21	白島沢	湧水
15	大妻籠上の平水道	簡易給水施設	大妻籠	6	12	井戸沢	表流水
16	大高取水道	簡易給水施設	上在郷	5	14	大明神沢	表流水
17	三軒屋水道	簡易給水施設	上在郷	3	10	水上沢	表流水
18	夏焼水道	簡易給水施設	富貴畑	4	7	夏焼（大土地）沢の支流	表流水
19	富貴畑水道	簡易給水施設	富貴畑	1	1	カンツ洞	表流水
	合計	19		148	394		

※個人水道（簡易給水区域内を除く） 27戸・57名

③三軒家・上在郷水道管布設事業（平成30年度繰越事業）

大山・蘭簡易水道の管末を三軒家地区の上在郷集会所周辺まで延長した

工事費 平成 30 年度（繰越）三軒家・上在郷配水管布設工事 … 26,224,000 円
 （請負者：(株) 名工土木）

④小規模水道現況・人口調査

小規模水道の実態を把握するため、本年も各小規模水道組合を対象とした現況・人口調査を行い水源や施設の状況、運営状況の詳細を調査した（18 組合中 18 組合より回答）。

⑤小規模水道全体計画策定

高齢化・人口減が進行し維持管理が難しい状況にある小規模水道の持続的な運営を図るため、小規模水道全体計画の策定を令和元年度までの債務負担行為で開始した。

委託料（令和元年度分）

平成 30 年度（債務負担行為）小規模水道全体計画策定業務 … 3,932,000 円
 （委託先：共和設計（株））

⑥胡桃田水道取水施設新設工事設計業務

大雨時に常時取水に支障をきたしている取水施設の設計を行った。

委託料 胡桃田水道取水施設新設工事設計業務 … 1,980,000 円

(2) 下水処理関係

合併処理浄化槽設置補助事業については、令和元年度の設置実績なし。

①合併処理浄化槽設置整備補助実績内訳（実績なし） (単位：千円)

補助金額	左記の財源内訳			備 考
	国庫支出金	県支出金	一般財源	
0	0	0	0	設置補助金

②人槽別設置補助金額 (単位：円)

人 槽 の 区 分	補 助 金 額
5 人槽	3 3 2, 0 0 0
6 ～ 7 人槽	4 1 4, 0 0 0
8 ～ 1 0 人槽	5 4 8, 0 0 0
1 1 ～ 2 0 人槽	9 3 9, 0 0 0
2 1 人槽以上	1, 4 7 2, 0 0 0

③排水設備改造資金関係

◎貸付限度 … 1 世帯 1 件とし、1 0 0 万円以内で 1 0 万円単位

◎償還期間 … 5 年以内

・金融機関預託額 八十二銀行南木曾支店 1, 0 0 0 千円
 J A 木曾南木曾支所 2, 0 0 0 千円

・貸付実績 (新規分) なし
 (継続分) 八十二銀行南木曾支店 1 件

・年間利子補給額 1 件 8, 0 0 0 円

